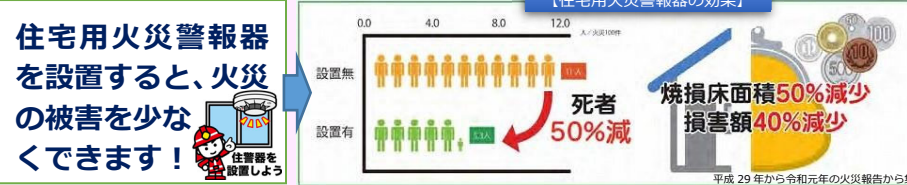


春の火災予防運動

「令和5年3月1日～3月7日」実施!!

- 住宅防火の現状**
- ①住宅火災における最近の死者数は、1,000人前後を推移。
 - ②住宅火災の死者のうち、高齢者が約7割を占める。
 - ③就寝時間帯で多くの死者が発生している。
 - ④たばこを発火源とした火災による死者が最も多い。
 - ⑤逃げ遅れによる死者が多い。
 - ⑥寝具類に着火した火災による死者が最も多い。



住宅防火 いのちを守る10のポイント

4つの習慣

- 1 寝たばこは絶対にしない、させない
- 2 ストープの周りに燃えやすいものを置かない
- 3 こんろを使うときは火のそばを離れない
- 4 コンセントはほこりを清掃し、不要なプラグは抜く

6つの対策

- 1 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する
- 2 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する
- 3 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防火製品を使用する
- 4 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく
- 5 お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく
- 6 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

宇和島地区 令和4年 火災・救急 速報

火災 45件 (死者) 4名 (負傷者) 8名
救急出場 4,692件

令和4年中に発生した火災は45件で、前年の31件に比べ14件の増加となっています。また、月平均出火件数は4件となり、およそ8日間に1件の割合で火災が発生したことになります。

令和4年中の救急出場件数は4,692件で、前年の4,548件に比べ144件の増加となり、搬送人員は4,290人で、前年の4,108に比べ182人の増加となっています。また、1日あたりの平均出場件数は13件で、傷病程度別搬送率は軽症35.8%、中等症44.9%、重症15.4%、死亡3.9%となっており、3人に1人が軽症となっています。

【火災件数】

- ・建物火災 18件
- ・林野火災 4件
- ・車両火災 1件
- ・船舶火災 3件
- ・その他火災 19件

【行政区別火災件数】

- ・旧宇和島市 12件
- ・吉田町 5件
- ・三間町 5件
- ・津島町 8件
- ・松野町 9件
- ・鬼北町 6件

【出火原因上位3】

- ① たき火 18件
- ② 枯草焼き 4件
- ③ こんろ 4件

《たき火》6年連続1位

【行政区別出火件数】

- ・旧宇和島市 2,841件
- ・吉田町 428件
- ・三間町 270件
- ・津島町 511件
- ・松野町 149件
- ・鬼北町 491件

※管轄外2件

《救急車利用率》19人に1人

【事故種別件数】

- ・急病 3,165件
- ・一般負傷 745件
- ・転院搬送 403件
- ・交通事故 248件

軽症:入院不要 中等症:入院必要 重症:3週間以上の入院必要

『たき火(野焼き)』は「原則禁止」されています!!

《なぜ禁止されているの?》 大気汚染物質の発生や周辺住民の生活環境(洗濯物に臭いがつく、煙たいなど)に影響を及ぼすほか、火災を引き起こす危険性も考えられることから、廃棄物処理法により禁止(※一部例外あり)されています。

◎例外的に行う場合▶消防署への連絡(火災とまぎらわしい煙又は火災を発するおそれのある行為の届出)が必要です。

●煙・臭いが気になる場合▶宇和島市(生活環境課)、鬼北町(環境保全課)、松野町(建設環境課)に連絡してください。

「救急車の適正利用について」消防本部からのお願い

新型コロナウイルス感染症の拡大により、救急車の要請件数が増加しています。発熱などの症状があり、新型コロナウイルスへの感染のおそれがある方で、症状が軽い場合は、まず、かかりつけ医等に電話相談し、案内に従って受診してください。かかりつけ医を持たない場合や、相談先に迷う場合は、受診相談センター(089-909-3483)に電話相談してください。陽性が確定し、自宅療養中に症状が悪化した場合には、まず自宅療養者医療相談センターに連絡してください。

ただし、いずれの場合においても症状が重く、急いで病院へ行く必要があると思われる場合は、ためらわずに119番通報してください。

救急車を本当に必要としている方のために、救急車の適正利用にご協力をお願いします。

救急車がたりません!
 全国で救急車の出動回数は5.1秒に1回
本当の救急?

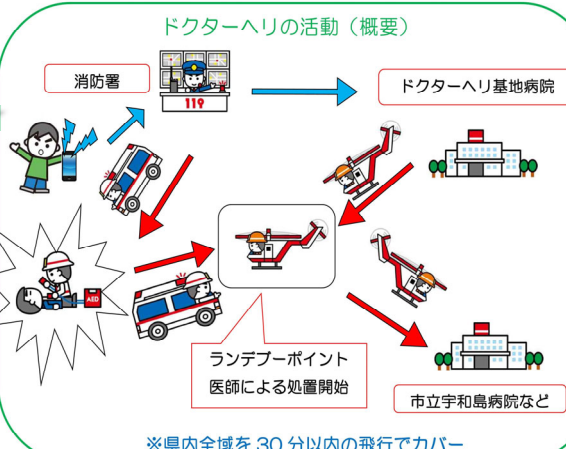
御槇小 清満小にドクターヘリ現れる!!

【ランデブーポイント】

- ・旧宇和島市 13箇所
- ・吉田町 5箇所
- ・三間町 1箇所
- ・津島町 7箇所
- ・松野町 2箇所
- ・鬼北町 6箇所

愛媛県では、平成29年2月から愛媛県ドクターヘリの運行が開始されています。令和4年10月からドクターヘリのランデブーポイントとして登録された、御槇小学校、清満小学校のグラウンドにおいて、11月と12月にドクターヘリの運用訓練が行われました。

【ランデブーポイント】医師が救急車などと協力し、いち早く患者のもとへ駆けつけるために、ヘリコプターが離着陸する場所。



《令和5年第69回文化財防火デー》 宇和島城で防火訓練

昭和24年1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺(奈良県斑鳩町)の金堂が炎上し、壁画が焼損したことに基づき、毎年1月26日は「文化財防火デー」と定められています。これに合わせ1月31日、宇和島城で防火訓練が行われました。訓練は天守山林にて火災が発生した想定で行われ、管理者による通報、天守内観覧者の避難誘導及び屋外消火栓からの放水が行われた後、到着した宇和島消防署員による天守への延焼を防ぐための水膜ホースなどの放水が行われました。

【参加機関】宇和島市教育委員会(文化・スポーツ課)・宇和島消防署 公益社団法人宇和島市シルバー人材センター(城山管理委託者)

新 消防職員紹介

令和4年4月に採用され、4月から9月の半年間、愛媛県消防学校で寮生活を送りながら消防活動の基本となる法令や資器材の取扱いを学び、初任教育課程を修了し、10月より宇和島消防署に配属され活躍している5名の消防士をご紹介します。

<p>① 薬師寺 樹 (23歳)</p> <p>② 吉田町沖村</p> <p>③ 沢山の人を笑顔にする事の出来る消防士になるために、何事にも全力で取り組みます。</p>	<p>① 上甲 聖也 (22歳)</p> <p>② 宇和島市川内</p> <p>③ 責任と自覚を持って職務に取り組み市民の方々に信頼される愛溢れる消防士になります。</p>	<p>① 一文字 史弥 (21歳)</p> <p>② 松野町大字豊岡</p> <p>③ 人命救助の最前線でも市民の方の心に親身に寄り添える、親切、丁寧な消防士になります。</p>	<p>① 山口 隼平 (21歳)</p> <p>② 松山市</p> <p>③ 初心を忘れず何事にも全力で取り組み、心身共に強い消防士になります。</p>	<p>① 山下 颯斗 (20歳)</p> <p>② 大洲市</p> <p>③ 人に対する優しさ、訓練や管理に対する厳しさを大切にし、住民に信頼される熱い消防士になります。</p>
--	--	---	--	---

愛媛県赤十字血液センターから感謝状受領

令和4年12月1日、宇和島地区広域事務組合消防本部・宇和島消防署での献血会場提供、近隣住民の方々及び消防職員の永年にわたる協力が評価され、愛媛県赤十字血液センターから感謝状を受領しました。

写真:丸川一郎 消防長